

# 1

# 日本の農林水産業

## 1 日本農業

(1) 稲作…品種改良によって、北日本でも熱帯性の稲が育ちます。

① 米づくりの作業…ほぼ1年がかりで、種もみ選び→育苗→田起こし・代かき→田植え→中干し→稲かり・だっこくという順番で作業をします。田起こし・代かきではトラクター、田植えでは田植え機、稲かり・だっこくではコンバインという機械が使われます。

② 沖縄県…大きな川がないので、稲作がさかんではありません。

(2) 畑作…日本の耕地にしろめる畑の割合は、およそ4分の1です。

① 穀物…小麦や大豆などが栽培されています。とうもろこしは家畜のえさ〔飼料〕や、バイオ(マス)エタノールという燃料になります。日本の穀物自給率は低く(約29%)、多くを輸入にたよっています。

② いも類…すずしい気候に適したじゃがいも〔ばれいしょ〕は十勝平野(北海道)、やせた土地でも育つさつまいも〔かんしょ〕はシラス台地(鹿児島県・宮崎県)や下総台地(千葉県)で生産がさかんです。

③ 野菜…大都市向けに周辺で新鮮な野菜を栽培してすぐに出荷する近郊農業、高知平野や宮崎平野などあたたかい地域で早づくりをする促成栽培、野辺山原(長野県)や嬬恋村(群馬県)などすずしい地域で高原野菜をつくる高冷地農業がさかんです。

(3) くだものづくり…気候や地形の特色に合わせて生産されます。

① みかん…あたたかい地域でつくられます。

② りんご…津軽平野(青森県)などすずしい気候に適します。

③ もも・ぶどう…昼と夜の気温の差が大きい甲府盆地(山梨県)の扇状地などで生産がさかんです。

④ 輸入…国別でフィリピン、種類別でバナナが1位です。

(4) 畜産…家畜を飼って、牛乳や肉、卵などをとる産業です。

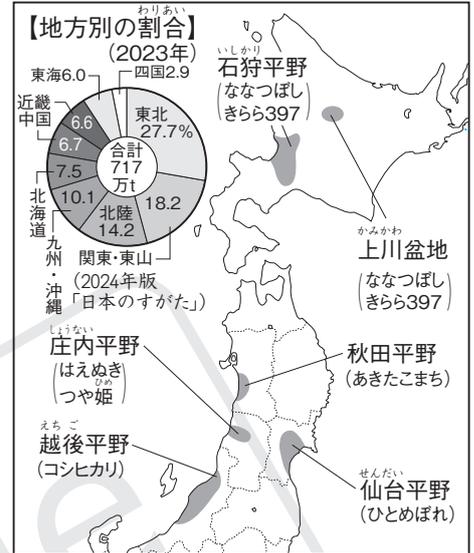
① 乳牛…乳牛から牛乳や乳製品をつくる酪農は、根釧台地(北海道)や小岩井農場(岩手県)などすずしい地域でさかんです。

② 肉牛…広い牧草地がある北海道や、火山灰地のシラス台地(鹿児島県・宮崎県)などで飼育がさかんです。松阪牛(三重県)や飛騨牛(岐阜県)は品質のよいブランド牛として有名です。

(5) 工芸作物…工場加工される農作物のことです。茶は静岡県、い草は熊本県、こんにやくいもは群馬県の特産物です。さとうきびやてんさい〔ビート〕は砂糖の原料です。こうぞやみつまたは和紙づくりがさかんな高知県で栽培され、皮が原料になります。

(6) 生産を高める工夫…国土にしろめる耕地(農地)の割合が約12%しかない日本では、多くの人手や肥料を使う集約農業が特色です。開拓や干拓で耕地を広げ、客土や(あんきょ)排水で耕地改良をする努力が続けられ、冷害を防ぐための稲の品種改良、干害を防ぐためのため池・用水路の建設もおこなわれてきました。

### ▼米の生産量と主な品種



### ▼主な野菜の生産地(2022年) 生産量順・単位%

なす	高知(14)・熊本(11)・群馬(10)
ピーマン	茨城(22)・宮崎(19)・高知(9)
キャベツ	群馬(20)・愛知(18)・千葉(8)
レタス	長野(33)・茨城(16)・群馬(10)
ほうれんそう	群馬(11)・埼玉(10)・千葉(10)
ねぎ	茨城(12)・千葉(12)・埼玉(12)

(2024年版「データでみる県勢」)

### ▼主なくだもの・工芸作物の生産地(2022年)

みかん	和歌山(22)・愛媛(16)・静岡(15)
りんご	青森(60)・長野(18)・岩手(6)
もも	山梨(31)・福島(24)・長野(10)
ぶどう	山梨(25)・長野(18)・岡山(9)
日本なし	千葉(10)・茨城(9)・栃木(8)
おうとう (さくらんぼ)	山形(77)・北海道(10)・山梨(3)
びわ	長崎(34)・千葉(17)・鹿児島(8)
うめ	和歌山(67)・群馬(4)・山梨(2)
パイナップル	沖縄(100)
茶	静岡(37)・鹿児島(35)・三重(7)
さとうきび	沖縄(58)・鹿児島(42)
てんさい	北海道(100)

(2024年版「データでみる県勢」)

# 基本問題

□1 稲作・畑作のさかんな地域 次の地図中の①～⑨にあてはまることばを答えなさい。



- ①  平野
- ②  盆地
- ③  平野
- ④  平野
- ⑤  平野
- ⑥  平野
- ⑦  平野
- ⑧
- ⑨  台地

□2 くだものづくり 次のA～Fにあてはまるくだものを、あとのア～カから1つずつ選びなさい。

- A 日当たりが良い地域で生産されることが多いくだものです。主な生産地は、和歌山県・愛媛県・静岡県などのあたたかい地域にある県です。
- B すずしい地域での生産に適したくだものです。特に青森県での生産がさかんであり、全国の60%以上の生産量をほこっています。
- C 気温の差が大きい盆地にある、日当たりや水はけが良い土地で生産されることが多いくだものです。主な生産地は、山梨県・長野県・岡山県などの盆地がある県です。
- D Cと同じような土地で生産されることが多いくだもので、春にピンク色の花をさかせる木になります。主な生産地は、山梨県・福島県・長野県です。
- E さくらんぼともよばれるくだものです。主な生産地は山形県で、全国の70%以上の生産量をほこっています。山形県では品種改良によって、このくだものの生産が増えました。
- F <sup>あ</sup>亜熱帯性の気候に適したくだものです。日本では、一年中気温が高く、降水量も多い<sup>こうすい</sup>沖縄県でほぼ全部が生産されています。

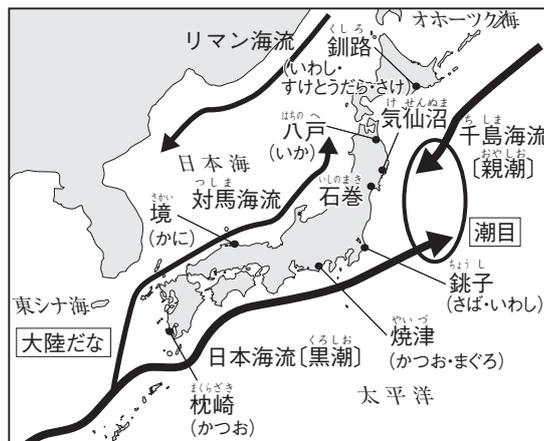
ア おうとう    イ ぶどう    ウ みかん    エ もも    オ りんご    カ パイナップル

- |   |                      |   |                      |   |                      |
|---|----------------------|---|----------------------|---|----------------------|
| A | <input type="text"/> | B | <input type="text"/> | C | <input type="text"/> |
| D | <input type="text"/> | E | <input type="text"/> | F | <input type="text"/> |

## 2 日本の水産業・林業

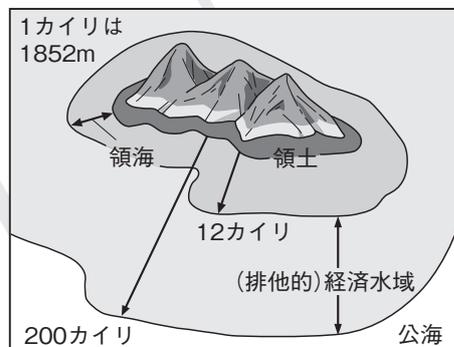
- (1) 日本の水産業…かつては漁かく量が世界一でしたが、現在は中国が世界一です。日本人の魚の消費量は現在でも多い方です。
- (2) 日本でとれる主な魚…かつては肥料にも使われたいわし・さばはまきあみ漁法、まぐろははえなわ漁法、かつおは一本づり、北洋の魚のすけとうだらは底引きあみ漁法、さんまは棒受けあみ漁法でとることが多くなっています。
- (3) 潮目(潮境)…東北地方の太平洋側の沖は、暖流と寒流がぶつかって、魚のえさのプランクトンが豊富なので、よい漁場です。
- (4) 海のはんい…沿岸からのきよりによって、領土と同じあつかいの領海、その国が魚や地下資源の権利を持つ(排他的)経済水域、どの国にも属さない公海に分けられます。

### ▼日本の主な漁港・漁場



- (5) 漁業の種類…全体的に漁かく量が減っています。
- ① 沿岸漁業…領海内で小型の船を使って日帰りでおこなう漁業です。赤潮やヘドロなどの海のごれによって魚が少なくなっています。
  - ② 沖合漁業…経済水域内で中型の船を使う漁業です。
  - ③ 遠洋漁業…ほかの国の経済水域内や公海で大型の船を使う漁業です。オイルショックや(排他的)経済水域での制限で漁かく量が減りました。
- (6) 魚を増やす努力…「育てる漁業」として、ふ化させた魚をいけすの中でえさをあてて育てる養殖漁業や、ふ化させた稚魚を川や海などに放流して成長したあとにとる栽培漁業がおこなわれています。
- (7) 水産業がかかえる問題…漁かく量の減少とともに水産物の輸入が増えて、魚介類の自給率が約57%になっています。また、農業・林業と同じように、水産業でも働く人の減少や高齢化が進んでいます。
- (8) 日本の林業…国土の約3分の2が森林になっている日本では、紀伊山地(和歌山県・奈良県・三重県)などで林業がさかんにおこなわれてきました。現在は外国から安い木材の輸入が多く、木材自給率は約41%です。
- (9) 林業の作業…植林から下草がり、枝うち、間伐をへて伐採をおこなうまで、何十年という長い時間がかかる大変な仕事です。
- (10) 森林の役割…水をきれいにしたり、養分をたくわえて川や海に栄養をあたえたりします。また、二酸化炭素を吸収したり、気温が上がることを防いだりするなど、環境にいいえきょうをあたえています。

### ▼海のはんい



### ▼林業のさかんな地域と美林



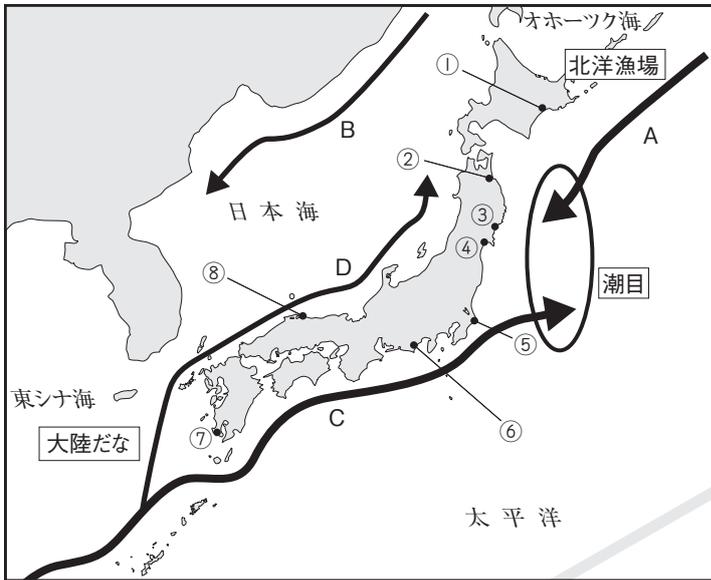
※天然の三大美林=青森(津軽)ひば・秋田すぎ・木曾ひのき  
 ※人工の三大美林=吉野すぎ・尾鷲ひのき・天竜すぎ

## 発展学習

- (1) 「米ばなれ」…日本人の食生活の洋風(西洋・欧米)化とともに米の消費量が減ったので、政府は減反政策をおこない、休耕(稲を植えないこと)や転作(別の作物をつくること)で米の生産量を少なくしました。
- (2) 米づくり農家の努力…「米ばなれ」を防ぐため、農家は化学肥料を使わない有機農業[有機栽培]を進めて、米を買ってもらおうとがんばっています。また、「米粉」を利用した食品の開発もおこなわれています。

# 基本問題

□3 海流と日本の主な漁港 次の地図中のA～Dにあてはまる海流の名前を答えなさい。また、①～⑧にあてはまる漁港の名前を、あとのア～クから1つずつ選びなさい。



A

B

C

D

①       ②

③       ④

⑤       ⑥

⑦       ⑧

- ア ハ戸      イ 境      ウ 焼津      エ 釧路  
 オ 銚子      カ 気仙沼      キ 枕崎      ク 石巻

□4 林業のさかんな地域と美林 次の地図中のA～Dの地域にある森林資源の名前を答えなさい。また、Eは山脈の名前、Fは山地の名前を答えなさい。



A

B

C

D

E       山脈

F       山地

- (3) 地産地消…地元でつくられた産物を、地元で消費することで、地域の産業をさかんにする効果があります。
- (4) 畜産物の価格…アメリカ合衆国などから輸入される飼料のねだんのえいきょうを受ける問題があります。
- (5) 「森は海の恋人」…森林がたくわえる養分によってプランクトンが増えたり、森林が土砂の流出を防いだりすることを期待して、宮城県で養殖漁業をおこなう人々などが植林や森林の保護を進めています。

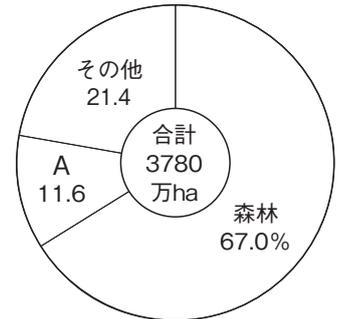
# 練習問題

1 日本の農業 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

日本の土地利用(2020年)

□(1) 日本の国土面積のおよそ12%をしめているAにあてはまることばを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 道路    イ 耕地    ウ 宅地  
エ 水面・河川・水路



(2024年版「日本のすがた」)

□(2) 右のグラフに示されているように、日本は国土にしめるAの割合が低いので、多くの人手と肥料を使って多くの生産をあげる農業をおこなってきました。このような農業を何といいますか。

(3) 農業生産を高めるためにおこなわれた工夫について、次の①～③にあてはまる方法をそれぞれ答えなさい。

□① 秋田県の<sup>はちろうがた</sup>八郎潟では、浅い湖の水をぬいて農地にした。

□② 北海道の石狩平野では、ほかの土地から持ってきた土と入れかえた。

□③ 新潟県の越後平野では、この方法で湿田が乾田に変わった。

2 日本の稲作・畑作 次の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③の稲作の作業を、それぞれ何といいますか。

□① 水田の水をぬいて、土を干すことで土の中のガスをぬき、根を強くする。

□② トラクターで田を耕して、肥料を入れる。

□③ 稲からもみ(米)をとりはずす。

□(2) (1)の①～③を、おこなわれる順番にならべなさい。

 →  → 

(3) 次の①～④にあてはまる畑作の作物を、あとのア～エから1つずつ選びなさい。

□① あれた土地でも育つので、シラス台地がある鹿児島県の生産量が日本一です。

□② 「和食」にかかせないとうふ・みそ・しょう油の原料になりますが、大部分は輸入です。

□③ ほとんどが輸入される作物で、家畜を育てるための飼料(えさ)に使われます。

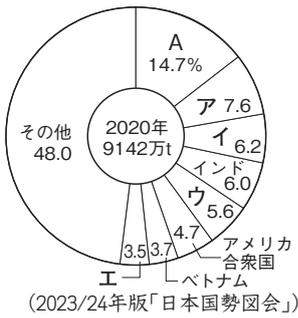
□④ すずしい気候での栽培に適した作物で、北海道の十勝平野などでつくられています。

- ア ジャガイモ    イ さつまいも    ウ とうもろこし    エ 大豆

①     ②     ③     ④

㊦ 日本の水産業 次のグラフⅠと表Ⅱを見て、あとの問いに答えなさい。

Ⅰ 世界の漁かく量



Ⅱ 水産物の漁かく量(海面漁業)

魚類	1980年	2021年
ア いわし類	244万 t	94万 t
さば類	130万 t	44万 t
イ かつお類	38万 t	25万 t
ウ すけとうだらなど	165万 t	23万 t
エ まぐろ類	38万 t	15万 t

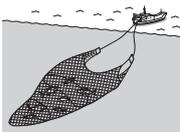
(2023/24年版「日本国勢図会」)

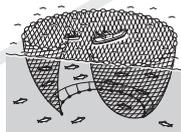
□(1) Ⅰについて、2019年に世界で最も漁かく量が多かったAの国はどこですか。

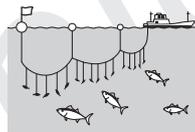
□(2) Ⅰのア～エのうち、日本の漁かく量にあてはまるものを1つ選びなさい。

□(3) 次の①～④の漁法でとれる魚類を、Ⅱのア～エから1つずつ選びなさい。

- ① 底引きあみ漁法    ② まきあみ漁法    ③ はえなわ漁法    ④ 一本づり










□(4) 東北地方の太平洋側の沿岸には、多くの漁港があります。このことについて、次の文章の( ① )～( ④ )にあてはまることばを、それぞれ答えなさい。

「東北地方の太平洋側の沖には、北の方から南下してきた千島海流という( ① )と、南の方から北上してきた日本海流という( ② )がぶつかる( ③ )があります。ここは魚のえさになる( ④ )が豊富なので、さまざまな種類の魚が集まって、よい漁場になっています。」

①     ②     ③     ④

□4 森林が持つ役割 次の文章の( ① )～( ④ )にあてはまることばを、それぞれ答えなさい。

森林は雨水をたくわえることで水害や干害が起こるのを防いでいるため、「( ① )」とよばれています。また、光合成をおこなって大気中の( ② )を吸収し、( ③ )が上がることを防いで、地球温暖化が進むことをおしとどめています。さらに、森林全体がたてとなって風や砂の害から人家や作物を守る( ④ )や防砂林としての役割を果たしているところもあります。

①     ②   
 ③     ④

# 応用問題

**1 日本の畑作** 右の表は畑作でつくられる作物の生産地を示しています。これを見て、次の問いに答えなさい。

生産量順・単位%

□(1) Aのグループは、宮崎県や高知県などの春先でもあたたかい気候の地域でおこなわれる、ビニールハウスの中で時期を早めて生産される夏野菜です。このような生産の方法を何といいますか。

A	①	茨城(22)・宮崎(19)・高知(9)
	②	高知(14)・熊本(11)・群馬(10)
B	③	群馬(20)・愛知(18)・千葉(8)
	④	長野(33)・茨城(16)・群馬(10)
C	⑤	茨城(12)・千葉(12)・埼玉(12)
	⑥	群馬(11)・埼玉(10)・千葉(10)
D	⑦	静岡(37)・鹿児島(35)・三重(7)
	⑧	沖縄(58)・鹿児島(42)

(2022年)

(2024年版「データでみる県勢」)

□(2) Bのグループは高原野菜です。群馬県や長野県などの夏でもすずしい地域で、時期をずらして高原野菜を生産する農業を何といいますか。

□(3) Cのグループは、千葉県や埼玉県でおこなわれている近郊農業によって生産される野菜です。この近郊農業について、かんたんに説明しなさい。

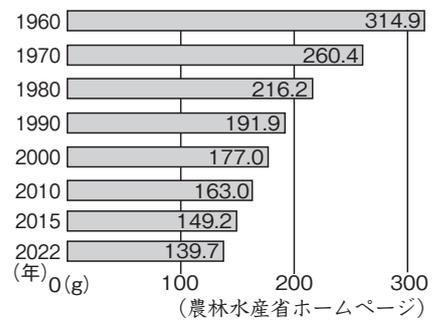
□(4) Dのグループは、工場で加工されたり工業の原料になったりする作物です。このような作物を何といいますか。

□(5) 表中の①～⑧にあてはまる作物を、次のア～クから1つずつ選びなさい。

ア 茶      イ キャベツ      ウ ピーマン      エ レタス      オ さとうきび  
カ なす      キ ねぎ      ク ほうれんそう

①	②	③	④
<input style="width: 100%; height: 30px;" type="text"/>			
⑤	⑥	⑦	⑧
<input style="width: 100%; height: 30px;" type="text"/>			

**2 日本の稲作** 右のグラフは日本人1人が1日に食べる米の消費量の変化を示しています。グラフからは、日本人の米ばなれが進んでいることが読みとれます。この対策として生産者がおこなっていることを2つあげなさい。

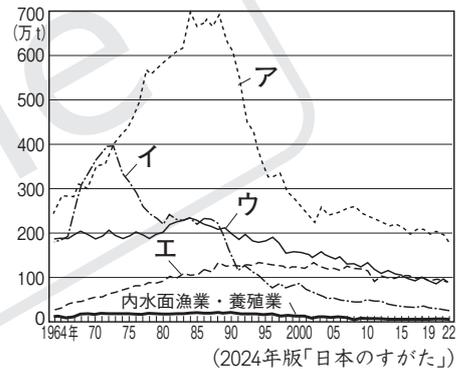
**E** 日本の水産業 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1960年代まで、日本の漁業の中心は遠洋漁業でした。大型の船で日本から遠くはなれた海域まで行く遠洋漁業は、<sup>㉔</sup>船の燃料のねだんが上がったり、各国が<sup>㉕</sup>排他的経済水域をもうけたりしたためにおとろえました。代わって漁かく量をのばしたのが沖合漁業です。しかし、1980年代後半のあたりから、沖合漁業は<sup>㉖</sup>沿岸漁業とともに漁かく量が減り続けています。その理由として乱かくによる水産資源の減少や<sup>㉗</sup>海のごれがあげられます。現在では、<sup>㉘</sup>水産業で働く人々が魚をつくって「育てる漁業」に注目が集まっています。「育てる漁業」が発展すれば、<sup>㉙</sup>世界最大級の水産物輸入国となった日本の自給率が上向くことも期待できるかもしれません。

□(1) 文章中の下線部<sup>㉔</sup>の原因になった、1970年代の石油のね上がりを何といいますか。

□(2) 文章中の下線部<sup>㉕</sup>の排他的経済水域について、かんたんに説明しなさい。

□(3) 文章中の下線部<sup>㉖</sup>の沿岸漁業にあてはまるものを、右のグラフのア～エから1つ選びなさい。



□(4) 文章中の下線部<sup>㉗</sup>について、海のごれによって異常発生したプランクトンのために海の色が変わって見える現象を何といいますか。

(5) 文章中の下線部<sup>㉘</sup>について、次の問いに答えなさい。

□① 「育てる漁業」には養殖漁業と栽培漁業がありますが、それぞれの魚を育てる方法にはちがいが見られます。このちがいについて、次の文章の( A )～( C )にあてはまることばを、それぞれ答えなさい。

「養殖漁業ではふ化させた魚を( A )の中で成魚になるまで育てます。これに対して、栽培漁業ではふ化させた魚を稚魚まで育てたあと、川などに( B )します。この稚魚が自然の中で成長してからとるので、養殖漁業のように( A )や( C )の代金がかかりません。」

A  B  C

**発**□② 宮城県では、養殖漁業をおこなっている人たちが、川の上流で森林の保護や植林をおこなっています。このような人たちが「森は海の恋人」とよんでいる理由を、かんたんに説明しなさい。

□(6) 文章中の下線部<sup>㉙</sup>について、日本が多く輸入している水産物としてまぢがっているものを、次のア～エから1つ選びなさい。

ア いわし    イ えび    ウ さけ・ます    エ まぐろ